

# 危機管理課

## ○ 防災関係

### 1 災害対策本部関係

伊勢市地域防災計画に基づき、災害の防止・軽減・応急対策を迅速に実施するため、災害対策本部を設置した。

(1) 本部設置回数 8回

設置年月日	警報・注意報名	備考
元. 5. 21 (火)	大雨 (土砂災害) ・波浪警報、雷・強風・洪水注意報	
元. 8. 15 (木)	暴風・波浪警報、雷・高潮注意報	台風第10号
元. 8. 16 (金)	大雨 (土砂災害) ・波浪警報、雷・強風注意報	台風第10号
元. 9. 5 (木)	大雨 (土砂災害) ・洪水警報、雷注意報、土砂災害警戒情報	
元. 9. 6 (金)	大雨 (土砂災害) 警報、雷注意報	
元. 10. 11 (金) ～10. 13 (日)	暴風・大雨・洪水・波浪警報、雷・高潮・強風注意報 (13日は、被害認定調査を実施)	台風第19号
元. 10. 18 (金) ～10. 19 (土)	大雨 (土砂災害) ・洪水・波浪警報、雷・強風注意報	台風第21号
元. 10. 21 (月) ～10. 22 (火)	大雨 (土砂災害) ・波浪警報、雷・強風・波浪注意報	

### 2 令和元年台風第19号の被災自治体へ職員派遣

令和元年10月に発生した台風第19号の被災地支援のため、全国青年市長会からの派遣要請に応じ、災害支援のため長野県佐久市に職員の派遣を行った。

(1) 派遣先：長野県佐久市（耕地林務課）

(2) 派遣期間、派遣職員及び人数、支援内容

派遣期間	派遣職員及び人数	支援内容
元. 11. 18～元. 11. 29	下水道建設課 1名	耕地の災害調査・設計業務支援

### 3 災害対策本部の体制強化

(1) B C M (伊勢市業務継続マネジメント) 定例会の開催

各部、各チームが主体性を持ってB C Mに取り組むためにB C M定例会を開催し、課題の進捗状況について報告等を行った。

ア 実施年月日 ①令和元年8月20日 (火)

②令和2年3月24日 (火)

イ 参加者 市長、副市長、部長級、総合支所長等

ウ 講評者 ①川合 一明 氏 (みえ防災・減災センター 企業防災アドバイザー)

②川口 淳 氏 (三重大学准教授)

エ 内容 各部、各チームでのB C Mへの取組状況の報告及び伊勢市全体で共有すべ

## き課題事項の共有

### (2) 図上訓練の実施

プロジェクト型災害対策本部体制の習熟度を上げ、災害対策本部となる防災センターでの災害対策業務を経験することを目的に職員を対象とした図上訓練を実施した。

#### ア 風水害編

- ・実施年月日 令和元年7月17日（水）・18日（木）
- ・参加者 延べ314名（17日 158名、18日 156名）
- ・訓練内容 災害対策本部における情報共有のルール確認や災害対応の目標の企画・立案方法を理解することを目的として、風水害による五十鈴川の破堤後の事案を想定し、訓練を行った。また、訓練終了後、講評を受けた。
- ・講評者 辻岡 綾 氏（人と防災未来センターリサーチフェロー）  
川口 淳 氏（三重大学准教授）

#### イ 地震編

- ・実施年月日 令和2年2月17日（月）
- ・参加者 195名（午前訓練142名、午後訓練125名）
- ・訓練内容 午前訓練では、現状のルールの確認と課題の抽出を目的として、勤務時間中に南海トラフ地震が発生した想定で訓練を実施した。本庁から防災センターへの移動訓練も実施し、今後検討が必要な課題の抽出を行った。  
午後訓練では、災害対応の企画能力向上を目的として、地震発生から1週間後の想定で訓練を実施した。伊勢市に大きな被害が発生した状況での対応を検討し、模擬記者会見を実施した。  
災害協定市の石川県加賀市や岐阜県中津川市の職員や新聞記者などの報道機関にも訓練に御協力いただいた。
- ・講評者 辻岡 綾 氏（人と防災未来センターリサーチフェロー）  
川口 淳 氏（三重大学准教授）

### (3) 避難所環境の整備

自主避難所を中心に避難所での停電や熱中症対策として資機材を整備した。

整備した資機材：大型扇風機、LED投光器、発電機（カセットガス用）

## 4 自主防災隊資機材購入事業

平成30年度に結成し、活動を開始した新規結成自主防災隊に防災資機材等を購入し、交付した。

- (1) 自主防災隊 五十鈴ヶ丘団地自治会自主防災隊（平成30年11月17日結成）
- (2) 支出額 670,993円
- (3) 交付資機材 発電機、LEDバルーン投光器、トランシーバー、防滴スーパーワイヤレスメガホン、簡易担架、リヤカー、ターポリン担架、防滴コードリールなど

## 5 自主防災隊補助事業

伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、防災資機材や備蓄食料等の整備及び訓練に対し、次のとおり補助金及び助成金を交付した。

- |               |      |               |
|---------------|------|---------------|
| (1) 自主防災組織結成数 | 134隊 | (令和2年3月31日現在) |
| (2) 訓練助成金     | 84件  | 2,520,000円    |
| (3) 防災補助金     | 117件 | 13,014,000円   |
| ア 自治会         | 39件  | 2,034,000円    |
| イ 自主防災組織      | 78件  | 10,980,000円   |

## 6 地域防災力向上支援事業

### (1) 防災講習・防災訓練の実施

南海トラフ地震等の大規模地震の発生が危惧されている中、地域における防災の取組を促進するため、自治会、自主防災組織、まちづくり協議会及び小中学校や高校、企業等からの要請に応じ、防災講習や防災訓練指導を実施した。

- |        |  |
|--------|--|
| ア 実施回数 | 152回   |
| イ 参加人数 | 10,432名  |
| ウ 実施内容 | <ul style="list-style-type: none"><li>・緊急時の行動や家庭内での防災対策の説明</li><li>・児童、生徒、従業員（外国人実習生含む。）等への防災教育</li><li>・三重県防災啓発車による地震体験支援</li><li>・災害時の避難行動訓練指導</li></ul> |

### (2) 地域防災マップ作成事業

住民が災害に強いまちづくりを行うことを目的として、防災について話し合い、顔の見える関係を作り、地域課題の共有や改善を行うため、地域住民の力で行うタウンウォッチングの説明会を実施した。タウンウォッチングの結果、地域で避難経路や地域資源等の情報共有を行うとともに、それらの情報を記載した防災マップを作成した。

- |        |   |         |
|--------|---|---------|
| ア 説明会  | 令和元年6月2日（日）小俣老人福祉会館                                   | 14自治会参加 |
| イ 作成実績 | 一之木町会、宮後町会、上長屋区、明野第三自治区、昭和苑自治会、大倉うぐいす台自治会、高畑自治区、新出自治区 | 計 8自治会  |

### (3) 高齢者等宅家具固定事業

過去に発生した大規模な地震では、住宅内の家具の転倒により多くの死傷者が発生した。特に高齢者、障がい者の方が被災されるケースが多数見受けられたため、高齢者等を対象に家具固定事業を実施した。

- |        |                    |
|--------|--------------------|
| ア 申込件数 | 16件                |
| イ 申込期間 | 令和元年8月1日～令和2年1月31日 |

### (4) 自主防災隊リーダー研修会の開催

地域の自主防災組織活動の中心的役割を担うリーダーの育成を図るため、伊勢市防災大学の講習と合わせて研修会を防災センターで実施し、日常のアウトドア用品を活用した防災対策や被災

時の行動などを学習した。

ア 実施年月日 令和元年10月20日（日）

イ 研修内容 講演 「地域の笑顔を守りたい 自然災害から命を守る防災セミナー」

講師 アウトドア流防災ガイド あんどう りす 氏

ウ 参加者 41名

#### (5) 伊勢市防災コーディネーター事業

市民の防災活動の普及・防災意識の高揚を図るため、防災士資格を持つ市民の中から防災コーディネーターを認定し、地域の防災啓発活動のサポート等を行った。

伊勢市防災コーディネーター 40名（令和2年3月31日現在）

#### (6) 親子防災デイキャンプの開催

夏休みを利用し、小学校4年生から6年生まで及びその保護者を対象に防災センターにおいて非常食の試食や応急手当の体験、避難所疑似体験などを通じ、災害に対する備えについて学び、防災に対する意識の向上を行った。

ア 実施年月日 令和元年8月4日（日）

イ 参加者 77名（小学生 37名、保護者 29名、防災コーディネーター 11名）

ウ 研修内容 避難所テント、段ボールベッド設営、アルファ化米調理及び試食と紙容器作成、クロスロードゲーム、応急手当体験、夜間避難訓練など

### 7 避難対策事業

#### (1) 洪水浸水想定に係るワークショップの実施

国土交通省は平成29年度の水防法改正に伴い、新たな宮川及び勢田川の「洪水浸水想定区域図」を公表した。この洪水浸水想定区域図では「家屋倒壊等氾濫想定区域」が新たに設定されるなど、河川の周辺地域の洪水浸水によるリスクが大きくなった。

このことから地域の方に最適な避難を考えてもらい、リスクコミュニケーションを行うためのワークショップを実施している。

ア ワークショップ

実施回数 3回

実施地区等 宮川町自治会、河崎連合会、佐八学区まちづくりの会

イ 内容 洪水浸水想定区域図の説明、「洪水避難検討シート」を使ったワークショップ

### 8 防災センター運営事業

平成28年4月1日にオープンした伊勢市防災センターは、市民の防災に関する知識の普及及び技術の向上並びに防災意識の高揚を図るとともに、災害時における災害対策本部として運用しており、防災の拠点として施設の管理、運営を行った。

#### (1) 管理運営方法

市が直接管理し、使用料は無料で運営している。（12月28日から翌年1月4日までは休館）

#### (2) 利用状況

年度	体験 学習室	研修室1	研修室2	研修室3	多目的 ホール	小計	イベント	合計
H28	8,055人	3,226人	214人	236人	4,023人	15,754人	2,300人	18,054人
H29	6,444	4,796	261	605	3,673	15,779	1,550	17,329
H30	6,187	4,238	240	597	4,825	16,087	1,700	17,787
R元	6,526	4,023	314	313	5,235	16,411	1,550	17,961

### (3) 実施イベント

#### ア 消防・防災フェスタ

消防本部と共催で「消防・防災フェスタ」を防災センターで開催した。

- ・開催日 令和元年5月26日(日)
- ・来場者数 850人
- ・イベント内容 防災劇場(伊勢忍者キングダム)、はしご車体験搭乗、放水体験、防災迷路、煙避難体験、消火体験、防災シアター、浸水車両脱出体験、レスキュー体験、備蓄食料試食など

#### イ 救急と災害を考える集い

伊勢地区医師会・伊勢保健所等と共催で「救急と災害を考える集い」を開催した。

- ・開催日 令和元年9月1日(日)
- ・来場者数 700人
- ・イベント内容 特別講演「災害時のこころのケア」、災害時の口腔ケア、災害時のお薬手帳の活用、血圧測定・健康相談、手洗いチェッカー、はしご車体験搭乗、モバイルファーマシー展示、防災物品展示、ソナエノゴハン(防災食)など

### (4) 伊勢市防災大学

防災について、総合的に学ぶ機会を提供し、防災知識の豊富な人材を育成し、地域の防災力向上及び災害に強いまちづくりを支援するため、伊勢市防災大学を開校した。

回	日時	内容	講師	参加者数
第1回	6月30日(日)	・開校式 ・防災講演	三重大学 川口 淳 准教授	37人
第2回	7月28日(日)	・防災講話 「東日本大震災を経験して大切な命を守るために」	防災教育の市民団体 ゆりあげかもめ 会長 佐竹 悦子 氏	130
第3回	8月25日(日)	・防災演習 「クロスロードゲーム」	伊勢市防災コーディネーター	27
第4回	10月20日(日)	・防災講話 「自然災害から命を守るセミナー」	アウトドア流 防災ガイド あんどう りす 氏	69
第5回	12月15日(日)	・視察研修(京都市)	京都市民防災センター	27
第6回	2月16日(日)	・防災食クッキング	だんだんキッチン 大須賀 由美子 氏	27

第7回	中止 3月8日(日)	・修了式 ・学んだこと発表会	修了証を郵送	—
-----	---------------	-------------------	--------	---

(注1) 第2回講義は、市内保育園の保育士88人を含む。

(注2) 第4回講義は、市内自主防災隊員41人を含む。

(注3) 第7回は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止

## 9 備蓄物資整備事業

伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき非常用食料等を購入・更新し、物資及び資機材の整備を行った。

### (1) 購入関係

種類	品目	R元購入	備蓄総量	備蓄目標
食料	ビスケット	7,630食	55,490食	71,065食
	お粥	3,000食	9,997食	11,521食
飲料水	ペットボトル(500ml)	10,320本	189,543本	555,345本
避難生活施設 運営資機材	LED投光機	20台	146台	225台
	カセットガス式発電機	15台	187台	135台
	大型扇風機	15台	15台	—

※ビスケット及び飲料水には職員用備蓄も含む。

## 10 防災行政無線管理運用事業

災害時における住民への適切な情報伝達手段である防災行政無線を適切に運用するため、既存の屋外拡声子局のバッテリー交換を行った。

### (1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市地内	防災行政無線屋外拡声子局バッテリー交換等業務委託	バッテリー交換 30か所 機器調整一式	円 7,040,000	元. 7.26	2. 1.15

## 11 災害協定の締結

民間事業所等と災害時の応援協定を次のとおり締結した。

締結先	締結年月日	協定の名称
有限会社 大石屋	31. 4. 24	災害時における災害時要配慮者に対する宿泊施設等の提供に関する協定書
三重日産自動車株式会社 日産自動車株式会社	元. 5. 29	災害時等における電気自動車による電力供給に関する協定書
株式会社 赤福	元. 5. 29	災害時等における電気自動車による電力供給に関する協定書
株式会社 勝浦御苑	元. 6. 3	災害時における災害時要配慮者に対する宿泊施設等の提供に関する協定書
ヤフー株式会社	元. 6. 19	災害に係る情報発信等に関する協定

社会福祉法人 賀集会	元. 7. 5	災害時要配慮者の福祉避難所として施設等を使用することに関する協定書
株式会社東海大阪レンタル	元. 10. 29	災害時における応急対策資機材の供給に関する協定書
株式会社ゼンリン	2. 1. 30	災害時における地図製品等の供給等に関する協定書

(注) 令和元年度末 協定締結数 112件

## 12 災害用民間井戸登録の普及

災害時における生活用水の確保と市民の防災意識の向上を図るため、災害用井戸の登録を募集し、水質検査を実施した。また、登録井戸一覧をホームページに公表するとともに自治会役員等に周知した。

(1) 登録件数 241件

(2) 募集期間 令和元年5月1日～令和元年11月29日

## ○ 危機管理関係

### 1 新型コロナウイルス感染症対策

令和2年1月ごろから国内外で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症に対し、「伊勢市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき、健康福祉部とともに事務局として対策本部事務を実施している。

## ○ 防犯関係

### 1 伊勢市防犯推進協議会

「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、事業計画を策定し、市民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、より安全で安心できる市民生活の確保に努めた。

#### (1) 地域安全講習会

年々増加する特殊詐欺事案等を未然に防止するため、伊勢警察署、伊勢度会地区生活安全協会職員とともに、自治会、老人会等へ出向し講習会を開催した。

ア 開催回数：41回

イ 受講者数：1,878名

ウ 内 容・防犯DVDや特殊詐欺事案の寸劇による啓発（振り込め詐欺など）

・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員による管内の犯罪等の発生状況、事例に沿った犯罪の手口とその対策方法について

・防犯アドバイザーによる地域の防犯対策について

#### (2) 防犯パトロール

児童・生徒に対して登下校時に発生している不審者による声かけ事案等からの被害防止を図るため、青色回転装備車で防犯パトロールを実施した。

ア 実施回数：96回

(3) 防犯情報による啓発

伊勢警察署や市内の学校から寄せられた不審者情報や振り込め詐欺情報、犯罪発生情報の「防犯情報」を、防犯メール登録者に配信し、注意喚起と啓発に努めた。

ア 配信回数：34回

(4) 防犯情報の提供及び対応

警察等からの不審者情報や振り込め詐欺情報を自主防犯団体や関係機関へ情報提供し、パトロール活動や注意喚起を要請した。

(5) 防犯推進地区

地域住民の防犯意識に対する理解と認識を深め、連帯意識を高めて、自主的な地域安全防犯活動ができるよう推進地区を指定し、防犯活動の支援を行った。

・指定期間：令和元年度～令和2年度 指定地区：ニュービレッジ大仏山自治会

・指定期間：令和2年度～令和3年度 指定地区：通町自治会、村松町会

2 伊勢市自主防犯団体連絡会

自主防犯団体相互の連携と資質の向上に積極的に取り組み、伊勢市内の防犯活動の活性化と市民の防犯意識の高揚により、安全で安心して暮らせるまちづくりに努めた。

(1) 街頭啓発活動

街頭犯罪や振り込め詐欺等の特殊詐欺被害防止のため、伊勢警察署及び伊勢度会地区生活安全協会、伊勢市自主防犯団体連絡会と合同で、街頭啓発を実施した。

ア 実施回数：22回

イ 実施場所：市内ショッピングセンター、JR伊勢市駅前、近鉄宇治山田駅前等

(2) 全国地域安全運動

全国地域安全運動の期間中（10月11日～20日）に伊勢警察署及び伊勢度会地区生活安全協会、伊勢市自主防犯団体連絡会と合同で、自転車ツーロック啓発活動を実施した。

ア 開催日：令和元年10月16日（水）

(3) 安全安心フォーラムin伊勢講演会

地域住民が防犯意識を高め、地域ぐるみで防犯活動に取り組むことで、より安全で安心なまちをめざすための講演会を開催した。

ア 開催年月日：令和元年5月13日（月）

イ 開催場所：伊勢市ハートプラザみその

ウ 参加人数：約100名

エ 内 容

- ・第1部 演 題 「オール三重」でどこよりも安全・安心なまちを  
講 師 野呂 良喜 氏（三重県環境生活部くらし・交通安全課）
- ・第2部 公 演 身近に発生している特殊詐欺の寸劇  
出 演 伊勢市自主防犯団体連絡会、伊勢度会地区生活安全協会、  
伊勢警察署、伊勢市



### 3 防犯灯LED化推進事業

夜間に路上で発生する犯罪等を防止するため、防犯灯の設置を推進するとともに、自治会が所有する蛍光灯の防犯灯を電気料金等が削減でき、長寿命であるLED防犯灯へ取替えを推進した。

#### (1) 防犯灯に係る補助金及び助成金交付

自治会が所有する防犯灯の整備等に対し、補助金及び助成金を交付し地域の防犯環境の整備を支援した。

- ・ 防犯灯新設            102灯（旧伊勢67灯、旧二見5灯、旧小俣20灯、旧御薊10灯）
- ・ 防犯灯修繕            136灯（旧伊勢95灯、旧二見6灯、旧小俣13灯、旧御薊22灯）
- ・ LED取替            1,523灯（旧伊勢1,145灯、旧二見96灯、旧小俣168灯、旧御薊114灯）
- ・ 防犯灯電気代    13,725灯（旧伊勢9,982灯、旧二見899灯、旧小俣1,977灯、旧御薊867灯）

# 防 災 施 設 整 備 課

## ○ 避難所等整備事業

### 1 避難生活施設等の環境整備

災害時に利用する避難生活施設等の環境整備に関連する測量設計及び工事等を実施した。

#### (1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
小 俣 町 明 野 地 内 ほか	(注) マンホールトイレ 詳細設計業務委託	マンホールトイレ 詳細設計 8 か所	円 9,007,900	元. 9. 20	2. 3. 30
〃	(注) マンホールトイレ 測量業務委託	基準点測量 23 点 現地測量 0.078k m <sup>2</sup>	4,772,900	元. 11. 8	2. 3. 13
計	2 件	—	13,780,800	—	—

(注) 下水道建設課施行

#### (2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
上 地 町 地 内 ほか	城田小学校ほか 避難所施設整備 工事	マンホールトイレ 22 基 ソーラー照明灯 4 基 案内看板 3 基	円 36,472,700	元. 6. 28	元. 11. 22
楠 部 町 地 内	四郷小学校屋内運動 場トイレ改修工事	トイレブース改修 (多目的化) 一式	977,400	元. 7. 9	元. 8. 30
久 世 戸 町 地 内	(注) 修道小学校屋内 運動場トイレ改修 工事	多目的トイレ 1 基 既存トイレ改修 一 式	6,540,480	元. 7. 19	元. 9. 13
楠 部 町 地 内	四郷小学校災害用 マンホールトイレ 保管庫設置工事	マンホールトイレ保管庫 1 棟	617,650	元. 10. 28	元. 12. 26
神 田 久 志 本 町 地 内	(注) 倉田山中学校屋内運 動場トイレ改修工事	多目的トイレ 1 基 既存トイレ改修 一 式	4,970,900	元. 12. 6	2. 3. 4
二 見 町 今 一 色 地 内	(注) 今一色津波避難 タワー解体工事	津波避難タワー解体 一式	5,720,000	元. 12. 20	2. 2. 28
神 田 久 志 本 町 地 内	倉田山中学校災害 用マンホールトイレ 保管庫設置工事	マンホールトイレ保管庫 1 棟	1,210,000	2. 1. 24	2. 3. 11
計	7 件	—	56,509,130	—	—

(注) 営繕課施行

(3) 備品関係

マンホールトイレ備品購入箇所	金額
城田小学校、四郷小学校、修道小学校、倉田山中学校 (4 施設)	円 9,444,364

2 地震自動解錠付防災ボックスの設置

津波の浸水が予測される地域の避難所へいつでも避難が可能となるように、地震を感知したときに解錠する防災ボックス（鍵ボックス）を設置した。

設置場所	金額
シンフォニアテクノロジー五十鈴寮、伊勢まなび高等学校 (2 施設)	円 649,000